

報道関係各位

2011年2月10日

森ビル株式会社

MEDIA SHIP 表参道ヒルズ 5周年

メンズブランド充実や「キッズの森」オープンにより、顧客層が拡大 表参道イルミネーション復活以降、14ヶ月連続で売上高前年超えを達成

表参道ヒルズは、2011年2月11日(金・祝)に開業5周年を迎えます。

2006年のオープン以来、進化し続けている表参道ヒルズ。お客様のニーズに合わせリニューアルを続け、常に話題の店舗を導入したことで、新規顧客獲得と顧客の定着化が進み、厳しい経済状況が続く中、2009年12月以降、14ヶ月連続で売上高前年超えを達成しています。

メンズブランド充実や「キッズの森」オープンで、新たな顧客層の拡大へ

新規顧客獲得につながった要因の一つが、メンズブランドの強化・充実。モードカジュアルをテーマに毎年リニューアルを進め、個性的な世界観を持つ国内メンズブランドを集積したことで、男性客層が拡大。顧客化が進んでいます。また、キッズエリア「キッズの森」をオープンしたことにより、新たに30代～40代前半のファミリー層の来館が増加。さらに、2009年12月の表参道イルミネーションの復活で、来街者増加とともに、表参道ヒルズへの来館者も増え、新たな顧客層の拡大につながっています。表参道ヒルズのみに出店するブランド店舗や旗艦店などもお客様の支持を得て、売上が順調に推移。リーマンショックで大きな影響を受けたラグジュアリーブランドの売上も改善され、売上高前年超えを続けています。

また、六本木ヒルズと表参道ヒルズ等の共通ポイントカードである「コミュニティパスポート」の入会会員数は増加傾向にあり、顧客向けにポイントキャンペーンやプレセールの開催、周年パーティーなど全館クローズドイベントへのご招待など、限定サービスを強化することで、顧客の定着化を促進しています。

表参道の街と連動し、訪日観光客誘致プロジェクトを推進

2009年より、地元の商店街組織である商店街振興組合原宿表参道櫛会との連携を強化し、地域に密着したイベントを開催するなど、街の活性化に貢献して参りました。昨年10月からは、櫛会が主体となりエリア全体で取り組みを開始した「訪日観光客誘致プロジェクト」に連動。銀聯カード全店導入やコンシェルジュカウンターへの中国人留学生ワークインターン配置など、訪日外国人向けサービスを強化しています。日本人同様に、世界中から訪れるお客様がお買い物を楽しめる環境整備を進めて参ります。



本件に関する報道関係の方のお問合せ先

森ビル株式会社 広報室 田澤・深野

TEL : 03-6406-6606 FAX : 03-6406-9306 E-mail : koho@mori.co.jp

森ビル株式会社表参道ヒルズ運営室 セールスプロモーショングループ : 北川・熊谷

TEL : 03-3497-0292 FAX : 03-3497-0318

メンズブランドの充実により、男性客の売上比率増加

2009 年のリニューアルより、海外ブランドの日本 1 号店や旗艦店など、上質で個性的なオンオフの境目のないファッションスタイル「Omotesando Hills Mode」を提案するブランドの強化・充実を図っています。

特に、メンズファッションでは、モードカジュアルをテーマに毎年リニューアルを実施。アイファニーやダルトン ボナパルト、マインドドライブなどの、個性的な世界観を持つ国内メンズブランドを集積したことにより、館内での相乗効果を生み出し、男性客層が拡大。男性客の顧客化が進み、「コミュニティパスポート」会員の売上比率では、男性客の売上が増加傾向にあります。

その他、アグ オーストラリア、マーク&ロナ プラスなど、直営店が表参道ヒルズ店だけのブランドの売上が好調。ブライダルフェアに力を入れたことで、ジュエリー店舗の売上も上がっています。

「キッズの森」オープンによる、ファミリー層の拡大

2009 年 9 月にオープンしたキッズエリア「キッズの森」。日本初出店ブランドなどの高感度な店舗を揃えた他、授乳室などのベビー向けサービス機能を強化し、30 代～40 代前半のファミリー層にも顧客が拡大しています。また、参加・体験型のイベントとして、季節ごとに親子向けワークショップを開催。現在まで約 80 回、約 1600 人のお客様にご参加頂き、高いリピート率に繋がっています。

昨年 7 月には、小さなお子様を連れた親が安心して外出を楽しめるよう、オムツ替えや授乳などが行える設備を備えた「赤ちゃん・ふらっと」施設として、東京都より適合の認定を受けました。4 月からは、新たにベビーカー貸出しサービスを開始するなど、ベビー向けサービス機能をさらに強化していきます。

*ベビーカー貸出しサービスを開始

4 月 1 日(金)(予定)からは、新たにベビーカーの無料貸出しサービスをスタート。本館 B2F キッズの森に店舗を構えるカートジのベビーカーを 3 台導入、本館 1F インフォメーションカウンターにて受付をしていただき、物販店舗営業終了 1 時間前まで、館内をご利用頂けます。ベビーカーにつけるおもちゃも同時にレンタル開始いたします。本館 2F には、ベビーカー置き場を設置しています。

貸出時間:11:00～20:00 日～21:00 (物販店舗営業終了の 1 時間前まで)

貸出場所:1F インフォメーションカウンター



導入予定 Peg-Perego si java

「コミュニティパスポート」会員限定イベントの開催により、顧客の定着化進む

六本木ヒルズと表参道ヒルズ等の共通ポイントカード、「コミュニティパスポート」の入会会員数は、2011 年 1 月現在、60 万人に達し、数を伸ばしています。その内、表参道ヒルズでの入会会員数は、約 16 万人。特に、30 代～40 代前半のファミリー層や、コア・ターゲットである 30 代前半の女性を中心に 20 代後半～40 代の近隣に居住または勤務されている男女の顧客が増えています。

総売上に対する会員の平均売上比率は 45%を推移し、その比率は、ポイントキャンペーンやプレセールなど、顧客向けのサービス実施期間中には 50%を超えています。他にも、周年パーティーなど全館クローズドイベントへのご招待など、「コミュニティパスポート」会員向けサービスを強化することで、顧客の定着化が進んでいます。

*コミュニティパスポートとは

六本木ヒルズ・表参道ヒルズ・平河町森タワーの共通ポイントカード。六本木ヒルズ・表参道ヒルズ・平河町森タワーでのお買物・ご飲食など、ご利用額 105 円(税込み)ごとに1ポイントをプレゼントします。500 ポイント以上貯まると、ポイントに応じて、人気アイテムやお買物券、映画鑑賞券などと交換できます。また、1 年度(毎年 4 月 1 日から翌年の 3 月 31 日までの 1 年間)のお買上金額合計に応じた 3 つのステージを設定。各ステージに達したお客様には、ボーナスポイントをはじめ、特別なサービスをご用意しています。HP: <http://www.compas.jp>

表参道の街との連動

街の活性化の中心的役割を担う表参道ヒルズ

2009年より、地元の商店街組織である商店街振興組合原宿表参道櫛会との連携を強化し、地域に密着したイベントを開催するなど、街の活性化に貢献しています。

毎年10月に表参道で行われる「原宿表参道ハローハロウィーンパンプキンパレード」では、イベントの一環となる「ハロウィーン広場」を本館B3Fのスペースオーにて開催。無料で楽しめるスペースとして、仮装した親子のお客様に好評を博しています。

また、2009年、11年ぶりに復活した表参道のけやき並木のイルミネーションでは、実行委員会の中心的役割を担うとともに、表参道エリアをさらに盛り上げるため、スペースオーでスケート空間「表参道スケATINGシアター」を実施。表参道への来街者増加とともに、表参道ヒルズへの来館者も増加。新規顧客層の拡大にもつながっています。

今後も、地域に密着した活動を積極的に行い、表参道ヒルズから街全体の賑わい創出や活性化に貢献して参ります。



ハロウィーン広場(2010年)



表参道スケATINGシアター(2010年)

中国人コンシェルジュ配置など、訪日観光客へのサービス強化

商店街振興組合原宿表参道櫛会は、増加傾向にある中国人観光客を中心に、昨年10月より、「訪日観光客誘致プロジェクト」を開始。表参道ヒルズもこのプロジェクトと連動し、銀聯カード全店導入、ショップスタッフの語学力向上、指差し会話シート設置、「留学生ワークインターン」制度導入によるコンシェルジュカウンターへの中国人留学生ワークインターンの配置など、訪日外国人向けサービスを強化しています。

最先端のファッションと日本の伝統文化が融合した街の核施設として、日本のお客様同様、世界から訪れるお客様が買い物や街歩きを楽しめる、外国人に優しい街づくりを実践していきます。



中国人留学生ワークインターンのコンシェルジュ

表参道ヒルズ館長 稲山 壮志 コメント

表参道の街の歴史や環境との調和に配慮し、街の新しいランドマークとしてオープンした表参道ヒルズも、5周年を迎えました。オープン以来、キッズルームなど街に必要な機能を補完する設備などハード面の充実のほか、街で行われる様々なイベントや清掃活動へ参加するなど地域の活動に協力してきました。また、イルミネーション復活では、実行委員として中心的役割を果たすなど、街に密着した施設運営を行ってきました。今後は、地元商店会など地域とのコミュニケーションを更に強化し、明治神宮の参道として日本の伝統的な文化があり、最先端のトレンドを発信し続ける街、表参道の核施設として、地域活性化に貢献するとともに、世界からお客様が訪れる東京のランドマークへと進化していきます。

